

『成城文藝』本年度刊行分総目次

(自第二二九号
至第二三二号)

執筆者五十音順

【論文】

有田 英也

『ド・ゴール大戦回顧録』第三部「救済」

第2章「地位」にみる国家像

第二二〇号、八六～七四頁

喜多崎 親

コレスポンドダンスの核

——ルドンの《目を閉じて》に見る象徴主義——

第二一九号、一一六～一四四頁

木水 千里

戦後アメリカ芸術界における

マン・レイ評価の傾向についての一考察

第二二三号、八六～六六頁

木村 建哉

古典的ハリウッド映画における不自然な「自然さ」

——ヒッチコック『裏窓』(1954年)の冒頭場面を例として

第二二〇号、七三～五二頁

ヒッチコック『見知らぬ乗客』における欲望／罪の移動の

視覚化

——深夜の密談のシーンの分析を中心に(1)

第二二一号、一一五～九九頁

ヒッチコック『見知らぬ乗客』における欲望／罪の移動の

視覚化

——深夜の密談のシーンの分析を中心に(2)

第二二三号、一〇二～八七頁

小林 真由美

『東大寺諷誦文稿』の浄土

第二一九号、四九～六五頁

篠塚 勝 正

窪 田 三喜夫

日本語文字形態（漢字、ひらがな、カタカナ）による認知
言語処理の差異

第二二二号、九八〜八四頁

立 花 幸 司

アリストテレスの友愛論における徳の定義と育成の問題

第二二〇号、五一〜三三頁

田 中 宣 一
伝承の「発見」

第二二二号、三七〜五八頁

高 木 昌 史

中世ヨーロッパの伝説

——(4) (完) タンホイザー／ローエングリン——

第二一九号、六六〜九三頁

南 保 輔

居場所づくりと携帯電話

——薬物依存からの「回復」経験の諸相——

第二二二号、一五八〜一三五頁

〔シリーズ／比較民話〕

(二) 瓜子姫／三つのオレンジ

第二二三号、四五〜六四頁

森 田 孟

〔愛〕の詩による出発

——ヘンリー・ヴォーン、国情を冷厳に凝視する——

優雅にのみは啼けない

——アスクの白鳥 ヘンリー・ヴォーン——

第二二〇号、一〜二四頁

高 名 康 文

フランスのコレージュ教科書と中世文学

——『狐物語』の学習によるジャンル概念の形成——

第二二二号、一三四〜一六六頁

賞讃詩と追悼詩

——ヘンリー・ヴォーンの「想い」

第二二二号、一〜三六頁

「運命」への静かな決意

——ヘンリー・ヴォーンの姿勢

第二二二号、一〜四四頁

横山 ゆか

『金髪のエックベルト』における伝説的要素

——伝説とメルヘンの境界——

第二二九号、九四〜一一五頁

【エッセイ】

上原 和

ヨハネス・フェルメールへの慕情

——一九五三年、ブルースト著『失われた時を求めて』における最初の出会いから——

第二二二号、五九〜六九頁

工藤 力男

むかし・いにしえ

——日本語雑記・拾遺——

第二二九号、一四五〜一五七頁

ヨリ三態

——日本語雑記・後拾遺——

第二二〇号、二五〜三二頁

絆 里山 障がい者

——日本語雑記・続後拾遺——

第二二二号、七〇〜八一頁